

# JAPS ニュース 第13号

日本建築写真家協会 JAPAN ARCHITECTURAL PHOTOGRAPHERS SOCIETY 会報

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-7 MARUZENビル1F (有)東京カラー工芸社内

TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp http://www.japs.jp/

## JAPS10周年企画に向けて

会長 小川泰祐

この夏の記録的な猛暑も峠を越え、ようやく秋風が吹き始めました。一方、景気は底冷え状態が続き我々の環境も相変わらず厳しい状況です。

すでに会員諸氏にはご案内済みですが、2011年9月開催のUIA（世界建築家連盟）東京大会に併せて開催する、JAPSの10周年企画写真展の作品提出期限も迫ってきました。2010年10月上旬に一回目の出展調整を行う予定です。UIA東京事務局との打合せも着々と進めています。写真展会場は明治生命館（重要文化財／東京都中央区丸の内）に決定しました。また、このUIAのイベント開催時公開に向け準備が進められている建築空間アーカイブス（DAAS）事務局との話し合いも並行して進めています（議事録別項）。写真家が提供するデータの大きさ、写真家（JAPS会員）への対価、Web検索後の使用手続き、その他多

くの問題を抱えながら協議を続けています。

JAPS会員のデジタル化に伴い例年の総会には、富士フィルム、加賀電子（コダック）両社を招待しておりますが、2011年総会には、ニコン、キヤノンの両社も招待し、デジタルに関する技術研究会を兼ねた総会にしたいと思います。すでに両社に人選を依頼しています。

建築に限らず写真のデジタル化により「著作権保護」「写真撮影料金」が苦境に立たされています。今後の大きな課題です。会員同士で情報を交換し個々人が権利を主張する事しか道は開かれませんが。

会員諸氏により積極的なJAPS行事への参加、意見交換を大いに期待しています。

## 第7回 日本建築写真家協会 総会及び懇親会 報告

日時：2010年6月18日（金）18:00～20:00

場所：ホテル JAL CITY 四谷

出席者：48名（会員35名 ゲスト10名 事務局3名）

記：津布久智

写真：西出貴文

### 出席者（敬称略）

秋山 実 内木政治  
大野 繁 大橋富夫  
小川泰祐 奥村浩司  
小野吉彦 勝田尚哉  
金崎ただとし 鏑木宏司  
木谷基一 木寺安彦  
工藤政志 車田 保  
篠澤 裕 高井 潔  
樽井洋治 津布久智  
中塚雅晴 名川明宏  
西出貴文 野口 毅  
林 広明 平井広行  
堀内広治 三輪晃士  
村岡章年 村上進吾  
安川千秋 山崎望輝  
山下圭一 山田新治郎  
吉村行雄 米倉栄治  
渡辺重任



富士フィルム（島田知明 前島邦男） 富士フィルムフォトサロン（上田裕一） 加賀ハイテック（野瀬真史）  
写真弘社（柳沢卓司） フレームマン（奈須田一志 中澤孝弘） 堀内カラー（矢崎俊文 早瀬 亨）  
アサヒカメラ（山田 茂）東京カラー工芸社/事務局（水谷一郎 小野ヨシ子 樺葉知子）

●総会 (司会 三輪晃士 会員)

◎会長挨拶 (小川泰祐 会長)

「デジタルデータが一人歩きしつつある今、本人の努力で著作権使用料を請求していくことをなんとかしていかなければいけない。そのために協会、総会での情報交換、ニュース、ホームページでの情報共有を積極的にし、それを生かしてもらいたい。カメラの性能があがり、誰にでも写真が撮れるという意識がひろがるなかで、アマチュアとの差別化をするためにも気概を込めた撮影をしていかなければならない。10周年記念写真展は、UIA大会をターゲットに日本文化をテーマに。銀座ジャックの成功を踏まえての期待もある」

◎事業報告 (平井広行 会員)

- 2009年度の事業報告及び2010年度提案
- DAAS(建築空間アーカイブス)の活動について
  - ・2010年2月24日、DAAS事務局に於いて第2回目の打合せを行った。
  - ・建築関連の写真、図面などの情報をweb上で広く世界に公開する。
  - ・第三者がその情報を使用の際は有料とし提供者とDAASに還元する。
  - ・写真提供料、使用料は今後DAASとJAPSで協議する。
  - ・JAPSは基本的に協力する。
- JAPS設立10周年記念写真展について
  - ・2011年UIA世界大会の日本開催時に建築士会とのコラボレーションし、復元された重要文化財「明治生命館」で開催する。(日時等詳細未定)
  - ・全ての会員に出展要請を継続する
  - ・建築を含めた、日本の伝統、風習、文化などを感じさせる内容とする。
  - ・2010年9月30日締切に向けて撮影を加速する。
- 2011年日本建築写真家協会展 光と空間 「建築の美」PartIX
  - 2011年6月10日(金)～6月16日(木)  
東京・富士フィルムフォトサロン
  - 2011年7月8日(金)～7月14日(木)  
大阪・富士フィルムフォトサロン

2011年7月29日(金)～8月4日(木)  
福岡・富士フィルムフォトサロン

○2011年日本建築写真家協会総会を2011年6月24日銀座桃杏楼にて開催。  
・来年度の総会からNikon様、Canon様を招待。

◎広報報告 (小野吉彦 会員、渡辺重仁 会員)

- ・JAPSニュース12号の遅配について  
今後は、複数人で担当し、遅れないようにする。
- ・情報を寄せていただくようお願い
- ・ホームページが2年目を迎えたが、会員名簿しか閲覧されていない。
- ・情報提供のお願いをした。

◎会計報告 (篠沢裕 会員)

- ・資料をもとに報告。
- ・会費増大のためにも会員増員に協力を呼びかけた。

◎提案 (堀内広治 副会長)

- ・新入会員の紹介、村岡章年さん(左)、西出貴文さん(右)の2名が紹介された。
- ・会員名簿、7月中旬発送  
会員証、6月8日発送
- ・2010年度世話人紹介  
代表：高井 潔、会長：小川泰祐、副会長：堀内広治、  
総務：山下圭一・木寺安彦、会計：三輪晃士・田中 豊  
(篠沢 裕)、広報：小野吉彦・渡辺重任・津布久智  
事業：平井広行・篠澤 裕・内木政治・山田新治郎・  
山崎望輝・西出貴文  
地区世話人：関西：名執一雄、名古屋：車田 保、  
福岡：山本伸生、仙台：横山博志
- ・総会への参加呼びかけ。



★以上の報告及び提案は、全員の賛同を得て了承された。



総会



世話人

●懇親会 (司会 三輪晃士 会員)

◎挨拶 (小川泰祐 会長)  
・協力会社、ゲスト紹介

◎乾杯 (富士フィルム株式会社コンシューマ営業本部 島田知明 様)  
「2000年をピークに銀塩の需要が30年前にもどっていて、当時と同じ商品のラインアップを提供することは、残念ながら出来なくなったが、リバーサル、ネガフィルム、手焼きのペーパーはこれからも作り続けます。今後とも出来る限りご

支援させていただきたいので、よろしくお願いたします」  
・手焼きペーパーのサンプル紹介

◎挨拶 (加賀ハイテック株式会社営業本部イメージング営業部 野瀬真史 様)  
・Ektacolor100 世界最高微粒子ネガについて (株式会社堀内カラー 矢崎俊文様、早瀬享様)  
・オリジナル photo book の紹介 (会員特別価格)

◎閉会挨拶 (高井潔 代表)



協力会社の皆さま



サンプルをみる

## 会員だより (81~89)

### ～ 会員の皆さんからの近況報告 ～

#### 多田 英毅 (千葉県千葉市) シャッター音

81

つい最近、フィルム撮影での見積依頼があり約2年間眠っていたレンズを引っ張り出して来ました。しばらく使用していなかったシュナイダーのレンズ9本は、カビも生えずに健在でリーズを付けてシャッター音を聞いた時は、懐かしいメロディーを聴いたような気持でした。

フィルムで撮っていた時はシャッターを切ってフィルム上に写し込んだ!!という気持ちでしたが、デジタルカメラでの撮影ではシャッターを押すと画像がすぐに確認できるので、シ

ャッターを切ったという感触がフィルムカメラよりも薄れてきたような気がします。

今回の見積が決まると約2年後の撮影になるそうです。フィルム撮影が決まった時の事を考えて、たまには大型カメラを持って撮影に出てみたいと思っています。フィルム装填して絞りとしutterスピードを決めチャージして切る動作を体にもう一度覚えさせておかないと心配です。

#### 三島 叡 (千葉県柏市) デジタルカメラは素晴らしい

82

今年で22年目を迎えた Panasonic 電工の「世界の景観照明カレンダー」の撮影で世界中を廻ったが、今年にはイタリアで撮影を行った。今回初めて家内を助手に採用。

今まではビューカメラで ASA100 のカラーフィルムで撮影してきたが色々考えた末、今年からデジタルカメラに切り替えた。これが大変良い。まず機材が少量化して持ち運びが非常に楽になった。大量のフィルムのコンパクトフラッシュカード数枚になり、フィルムの入れ替えもなく数百枚連続して撮影可能で大変効率が良い。ただバッテリーや充電器などは必要で毎晩メンテナンスはしなくては行けないが...

それにもまして入国検査で厳しいチェックがなくなり快適快適。以前はカメラバックを必ずオープンさせられ、なにやら脱脂綿のようなものをこすりつけ、その後裏の部屋で検査してOKとなる。どうも麻薬の検査をしているらしい。これは何処の国でもやられた。またインドではフィルムを沢山持っていたので税金を取られた。それがニヤニヤしながら「チップをくれれば免除してやるよ」というような顔つきで。

デジタル撮影で一番嬉しいのは撮影した写真を瞬時に確認

出来るのが素晴らしい。今までのフィルム撮影では現像が上がるまで光線漏れやX線は大丈夫かなど、問題ないと思っても心配だった。この心配がなくなっただけでもデジタルは有り難い。ただデジタルは瞬時に消滅してしまう危険性があるので二重三重の防御を行ったことは言うまでもない。

イタリアでは大型ビューカメラの撮影においては当局の撮影許可が必要と言われたが、小型カメラではその必要はないという。今や全ての観光客が小型カメラを持っている時代では我々も一般客と同じ扱いのようだ。何処で三脚を立て撮影しても問題はなかった。またイタリアは物騒だから注意しろ、夜は特に危険、ナポリは最も危険だと聞かされていたのでガイドを雇うなど万全をきしたが、今はあちこちに警官がいるので治安も良くなりそんな心配は必要ないようだった。帰国後は撮影時を思い出しながらLOW現像をするのもまた楽しいものだ。

デジタルカメラは素晴らしい。これからは建築写真もデジタルカメラで撮影しようと思っている。来年のカレンダー「イタリア編」は11月には完成の予定。

#### 板山 一三 (東京都江戸川区) 気の重い毎日

83

私は建築の仕事では、今でも4x5のフィルムを使っている。現像所は、遠くなり仕入れもその都度ラボに注文するが、今は、在庫がないので2日先、3日先になり天気予報と先方とのアポどりの調整で、予定表も書いたり、消したりで泣いたり怒ったりの毎日です。

デジタルも設備投資が大変で、OS、ソフトの更新、新しいカメラの導入、プリンターのインキや紙、お金のかかること。一

度システムを構築してもすぐ次が待っている。35mmのデジタルカメラで撮影すると、フィルムの時代とは比較にならない程時間短縮ができるけど、PCの前での悩む時間が多くなった。クライアントサイドがOKならばそれでよしとしなければ身体的、精神的自己負担が増大する。息子2人も同業で、今デジタルムービーに夢中、ここでまた設備投資か気の重くなる毎日。お金は、絶対貯まらない。

芥子 富吉（大阪府大阪市）大阪のインターナショナル

84

先日、私は大阪城天守閣から大阪の町を眺めてみると、大阪城天守閣に30数年振りで登ってみました。

大阪城と言えば今から400年程前に豊臣秀吉が、そして徳川家康が天守閣を築きました。昭和に入り大阪市民の手で今の天守閣が築かれたのが昭和6年のこと。現在の天守閣は昔のと違い鉄筋コンクリート製でエレベーター完備。入場料を払って中に入ると外国人の姿の多い事にまず驚かされました！そして次に驚いたのが、エレベーター！！エレベーターガールの日本人女性が英語で「welcome to Osaka



castle …」簡単な館内の案内と注意事項を、話し始めるのです。そして最後に「Have a good day」ってな具合で、周りを見渡すと日本人らしき人は私だけ。エレベーターを降り、いざ天守閣展望台に。するとそこは外国人の方でイッパァーイ！！あちらこちらから英語、フランス語、中国語、ハンガール語、○×△□語が聞こえて来るではありませんか。皆さん銘々に日本製デジタルカメラで記念撮影を楽しんでいました。

大阪に住み続けて45年、大阪って国際都市なんだからって感じた1日でした。

荒木 義久（京都府京都市）

85

私もとうとう今年から80%の撮影をデジタル化してしまいました。理由はプロラボがフィルムからのプリントが適切に仕上がらなくなってきた事。相次ぐ関西ラボの撤退。あとはTS-E17というシフトレンズがメーカーから発売されたのも後押ししていますが…。全体の仕事の内容は、みなさんと同じく殆どパソコン作業になってしまって、建築物撮影になるとカット数が多くなるので、撮影後のパソコン作業の事を考えると憂鬱になることもあり、以前より考えて撮影するようになりました(笑)。

インテリア関係の撮影の時「撮影はポジフィルムで撮影しましょうか？ネガフィルムで撮影しましょうか？」と1年前まではクライアントにお伺いをたてて撮影したのですが、今は殆どのクライアントが、デジタルでの納品なので印刷原稿用とプリ

ント用との分け目がなくなり、使用目的による請求金額の違いがあてはまりにくくなっています。対応として撮影代とデータ代と分けて請求をしています。

反面、プリントはネットにて発注し、納品もネット送信やCD-Rでのデータ納品なので、短期間で納品でき手離れが早くなりました。版權については、クライアントとの交わした契約を紳士的に守っていただくしかないと思いますが、今、問題はクライアントの担当者が退社して独立したときに写真はデータになっているので簡単に持ち出せるということです。独立した担当者のホームページに使用されていたりするのが一番よくあり困ります。今は素材を撮影し加工するグラフィックデザイナーまがいいにはならないように、私なりにより丁寧に撮影し写真家という職業を全うしたいと思っています。

山崎 登志夫（東京都立川市）マラルメ、ピンチョン。

86

この夏、相次いでひとつの全集が完結し、ひとつの作品集の刊行が始まった。

ピンチョン全小説（新潮社）

長い作家生活のなかで長編作品が7作という寡作なピンチョンのまとまった作品集が（この日本で）出るのとても素晴らしいことだと思う。しかも柴田元幸氏他の監修で、訳し下ろし・新訳・改訳されるということで期待がふくらむ。装丁もシンプルかつ重厚さもあって好感が持てる。閉塞感たようななか、

ちいさな楽しみではある。

マラルメ全集（筑摩書房）

全五巻なのに初回配本から二十数年を経てやっと完結した豪華本。銀函入りの装丁も豪華だが、菅野昭正、清水徹、阿部良雄、渡辺守章の編者も超豪華でまさに「世界に誇りうる」全集だろう。価格も豪華なうえに、その存在の大きさ故にまだまだ近寄ることさえ出来ない。

中塚 雅晴（東京都新宿区）なぜ触るのですか？

87

8月末、現在六本木ヒルズで展覧会を開催しています。今年2回目の個展であり、計画も1年前から進めていたので計画実行前は協賛会社のOK待ちで、のんきにしていました。しかし、OKが出たのが開催1ヶ月を切り、会場の変更を指示され、展示スペースも半分と前もって計画していた事が大幅変更になりパタパタの展示準備となりました。

ようやく開催して、落ち着いて会場に待機し、大きな希望と野望を秘めながら、毎日数千人のお客様が52階展望ギャラリーに来られるのを待っていました。残念ながら私の写真を見に来てくださるお客様だけではなく、パブリックな展望台の為か？写真に触れる人が後を絶ちません！写真に触れるだけではなく手に持った物（携帯、扇子、うちわ、パンフレットなど）で



指し示す様子で写真を叩く人まで居るのです。会期中の2週間でこのような人が数百人になる勢いです。私は初め注意をしていましたが、あまりにも大勢のため怒る気持ちが失せてしまいました。諦めて「写真に触るのは、触れたいほど写真に興味を持ったからだ！」と思うようにして、2週間の会期で写真がボロボロにならずに終わられることを今は祈っています。

モラルとは何でしょうか？ちょっとした環境の違いでモラルの欠如は露呈してしまう。モラルを持たない人は年齢、性別、国籍に関係ないことを学びました。この後、万博に合わせて個展を上海ヒルズで9月中頃開催予定ですが、はたして成功するか不安でいっぱいです。

（編集部注：執筆は8月末）

土面 彰史（三重県度会町） フォビオンの虜に！ -----88

デジタル赤外線写真の作品作りをしようと、色々探していた所、難しい改造をしなくても、レンズ交換の際の埃の進入を防ぐ、ダストプロテクターを外すだけでよいというシグマのカメラを発見し購入しました。詳しいことは解らないですが、フォビオンダイレクトイメージセンサーという特殊な受光素子に、熱烈なファンが居ることを知りました。

シグマのデジタルカメラはキヤノンやニコンのようなハイスペックな機能が無いどころか、5年以上前のデザインと、もっと以前のかなりのロースペックな性能で、高感度に凄まじく弱く、私の実用感度はISO50か100。一枚撮っては休憩で、連写はとても不可能。撮影画角は1.7倍だったり、他



にも欠点はたくさんあります。しかし、フルサイズ並みに、ファインダーは非常に見易くマニュアルでピント合わせが出来るりもします。撮影してみるとデジカメラしからぬ、他のデジカメラとは違う空気感とか臨場感のような抜けの良さを実感出来ます。

このフォビオンの作る絵は、多々ある弱点すらも忘れさせてくれます。熱烈なファンの居る理由も解ります。じっくり腰を据えて撮れる建築写真においては、このカメラは結構向いていると思います。シグマのカメラなので、シグマのレンズしか付きませんが、10~24mm (17~40mm) を仕事でも使っています。今では、私もすっかりフォビオンの虜になっています。

金子 滋（埼玉県川口市） 一花咲かせてみませんか -----89

バブルがはじけ始めた時期でした。ライフワークとしての写真を撮るとか、何かをしなければと思い悩んでいた頃、健康も考えジョギングを始めました。徐々に距離を伸ばし、タイムも気にするようになると、10kmを40分以内で走る目標を立てました。スピードを目指す市民ランナーの第一関門です。1年後に達成は出来たものの伸びが止まっていた時、ある方から「一人でやっていて40分が切れるなんて、才能がありますよ。一緒に練習して、一花咲かせてみませんか」と言ってもらえました。その「一花咲かせる」を励みに、翌週からトラックでのインターバル練習が始まりました。中学・高校は合唱部員でしたが、47才を過ぎて、若者達と走れる喜びは格別です。

おかげで、49才での初マラソンは2時間57分でゴール、我が人生最高の自慢です。月間300km以上、夜景撮影のある日以外は走りました。怪我との戦いの50代でしたが、さすがに60才を過ぎると、200km止まりです。年齢に応じて目標タイムを設定し、大会での年代別入賞をおまけに15年間がんばって来ましたが、65才を前に楽しいジョギングに切り替え様かと思っています。がんばり過ぎは、達成感は味わえますが、体に悪すぎます。もう咲かせる花も無さそうですし。

15年前にパソコンの勉強を始め、5年前からデジタルに完全移行をしました。しかし、質を問わない値段だけで決まる最近の撮影依頼についていく気になれません。そろそろ撤収です。

●日本建築写真家協会 世話人会報告 (47~49) ●

代表：高井 潔	広報：小野吉彦・津布久智・渡辺重任
会長：小川泰祐	事業：内木政治・篠澤 裕・西出貴文・平井広行・山崎望輝・山田新治郎
副会長：堀内広治	大阪：名執一雄 名古屋：車田 保
総務：木寺安彦・山下圭一	福岡：山本伸生 仙台：横山博志
会計：田中 豊・三輪晃士・篠澤 裕	

- 第47回 2010/06/11 恵比寿区民会館 18:00~20:00 (出席) 小野吉彦、木寺安彦、篠澤 裕、津布久智、西出貴文、堀内広治、山崎望輝、渡辺重任
- JAPS ニュースについて、今後2人体制編集で進める。新入会員は入会年に「会員たより」を執筆してもらう。世話人の「会員たより」をストックしておく。ホームページに建築の保存などのタイムリーな情報を載せる。
- 総会について、6月18日集合は15時。ニュース用原稿担当は津布久、記録写真は西出が担当する。今回はパソコンなし。

- 第48回 2010/07/09 恵比寿区民会館 18:00~20:30 (出席) 小川泰祐、小野吉彦、津布久智、篠澤 裕、高井 潔、平井広行、西出貴文、堀内広治、山崎望輝、渡辺重任
- 名簿の構成チェック作業をする。
- 2011年総会へ、ニコン、キヤノンのカメラ技術者を呼ぶ。
- 設立10周年写真展について。大全紙50枚展示とする。展示方法の検討。会員の撮影状況を確認する。
- 2011年「光と空間」写真展について。担当は平井、山田。東京展は富士フォトに変更。東京、大阪、福岡を巡回予定。名

- 古屋、仙台展は各担当世話人へ開催意向を尋ねる。前回より富士フィルムからの補助が打ち切られたので、パネルサイズの変更などで経費節減の必要あり。
- DAAS との取組について。DAAS より会員に写真の掲載依頼が継続している。有料を前提に交渉中。
- JAPS ホームページについて。出版写真展情報を充実させる。個人でホームページを持っていない会員は特に、何らかの記事を載せてあげたい。
- 世話人会会議に欠席の時は、事務局にその連絡を徹底する。
- 2010年度名簿は10月1日までに作成する。

- 第49回 2010/09/10 恵比寿区民会館 18:00~20:00 (出席) 小川泰祐、小野吉彦、高井 潔、平井広行、堀内広治、三輪晃士、山崎望輝、山田新治郎、渡辺重任
- 設立10周年写真展について。タイトルを決定する。(仮)日本建築写真家協会創立10周年展「日本・風土と建築」。100字概要、英文を作成する。
- DAAS について。8月25日にDAAS との打ち合わせが行われた。(6pに詳細)

# 建築空間アーカイブス打合せ(JAPS・DAAS)メモ

記：小川泰祐

2010年8月25日 10:00～12:30 JAPS 事務局  
出席者 JAPS (J) 高井潔・小川泰祐・堀内広治・水谷一郎 (事務局)  
DAAS (D) 武藤奈津子 (専任事務局員)

### 議題

- ・(D) 国土交通省管轄の「一般社団法人 住まい・まちづくり担い手支援機構」が窓口になる。
- ・(D) 建築5団体の表彰作品を優先して入力作業を進めている。
- ・(D) 2009年度は300作品が収蔵された。(1作品5カット程度)
- ・(D) 2010年8月末現在のJAPS会員該当数は約500カット。
- ・(J) 提供するデータの大きさに著しい差異があるので検討の余地あり。
- ・(J) Web上のデータは10MB程度とし、検索後の使用依頼の際に必要なデータを再度作成する。

## 掲示板

情報を事務局へお寄せください。  
最新情報はホームページをご覧ください。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- 浅川 敏 写真展① 「浅川敏 写真展」 2010年6月22日～27日  
ギャラリー「夢のカタチ」(東京都港区) (終了)
- 大野 繁 写真展② 「LESS IS MORE」アルテピアッツァ美唄にて 大野 繁 写真展  
2010年10月12日～24日 表参道アルスギャラリー (東京都渋谷区)
- 大橋 富夫 出版③ 「写真アーカイブ 東京 変わりゆく町と人の記憶」  
2010年6月20日発行 秋山書店刊 2,940円(税込)
- 工藤 政志 テレビ④ NHK「ワンダー×ワンダー ほぼ完全公開 東京スカイツリー」  
2010年7月24日、再8月1日放送 (終了)
- 中塚 雅晴 写真展⑤ 「WORK SONG 上海環球金融中心を創る人、育てる人」  
2010年8月17日～30日 東京シティービュー展望ギャラリー(東京都港区)(終了)
- 中塚 雅晴 写真展⑥ 「WORK SONG」中塚雅晴 写真展  
2010年9月20日～10月17日 上海環球金融中心 2F (中国・上海)
- 平井 広行 出版⑦ 「SHIGERU BAN」発行所 TASCHEN 20,000円

連絡先等変更 住所・連絡先等変更がありましたら、必ず事務局にご連絡ください。

小室 貴義 住所/電話変更 (新) 〒

### 訂正とお詫び致します

12号「世話人会報告」欄で、山田新治郎さんの名前が間違っておりました。(×次→〇治)  
12号「建築空間アーカイブス」欄ほかでDAASの表記がところにより間違っておりました。(×DASS→〇DAAS)

事務局 TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp